

市民活動状況
(9月末日現在)

市内NPO法人数	32 団体
当センター登録団体数	155 団体
来館者数	1,140人
印刷機利用枚数	21,523枚

ひびき



発行枚数 500枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
 〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
 E-mail center@ryugasaki-shiminkatsudo.net URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



市民団体活動紹介シリーズ No.37「龍ヶ崎手話サークル たつのこ」

目指せ！市民活動日本一

手話サークルたつのこは地元の聴覚障がい者に教えてもらいながら楽しく学んでいます。「心のコミュニケーション」をととても大切にしています。

福祉出前講座(小学校手話体験講座、他)ボランティア連絡協議会の各種行事に参加するなど、聴覚障がい者の社会参加と福祉の向上に努めています。

活動日時…毎週木曜(第1～第3) 午後7時～9時

場所…久保台コミュニティセンター

* お気軽に見学にいらしてください。



小学校にて手話体験講座



「ふれ愛広場」に参加



楽しく学んでいます

龍ヶ崎まちづくり講座「地域の歴史的建造物を活かしたまちづくり」の報告



9月15日(日)市民活動センター2階パソコン室にて、龍ヶ崎まちづくり講座「地域の歴史的建造物を活かしたまちづくり」を開催しました。主催は龍ヶ崎市市民活動センター、比較住宅都市研究会、NPO龍ヶ崎建物保存会の共催になります。

講師には一級建築士で工学博士の苅谷勇雅さんをお招きしました。苅谷さんは国立高専機構小山工業高等専門学校校長時代には、教育研究環境の充実に貢献され、現在は、日本イコモス国内委員として、世界文化遺産をはじめ国内外の文化遺産の保存や活用、歴史まちづくりの発展に尽力されている方です。

まず、参加者の自己紹介を各々1分程度お話いただきました。やはり、歴史的建造物に関心のある方がたくさんおられました。

苅谷勇雅さんの講演は、最初に多宝塔、竹内農場西洋館、旧小野瀬邸等の龍ヶ崎の建造物についてお話されました。龍ヶ崎には町屋や古民家など、個人で管理されている魅力的な建造物がたくさん存在していると力説されました。

次にたくさんの資料の中から、千葉県大多喜町、栃木市、近江八幡、桜川市真壁地区、香取市など全国の保存活用事例を伝統的建造物群の保護、文化財建造物の登録、文化的景観の保護、登録有形文化財等の国の制度を交えてお話いただきました。

一般参加者15名、スタッフ3名及び全国からネット参加者9名と多く、最後に質疑応答で盛り上がりしました。



龍ヶ崎ヒストリー第21回「龍ヶ崎陸軍秘匿飛行場(八原飛行場)」

昭和20年(1945)の八原村の地図を見ると、貝原塚字女化付近に何やら十の字になった滑走路のようなものが描かれています。それは紛れもなく滑走路で、敗戦間際の帝国陸軍が本土決戦に備えて整備させた特攻部隊の発進基地でした。当時の八原村字貝原塚に所在したことから八原飛行場あるいは貝原塚飛行場ともいわれています。このような飛行場は全国に40か所計画されましたが、いずれも突貫工事だったのでどの程度が完成したか分かっておりません。

エリート情報社「女化土づくりムラづくり苦闘百年」によると、八原飛行場は昭和19年、伊藤農場を中心に飛行場の建設が始まり、近隣からたくさんの人が勤労奉仕に動員され、その中には中学生や、朝鮮人徴用工もいたそうです。作業はほとんどが手作業で、木を伐り、株を抜き、雨の日も休みなしの突貫工事が続けられたとのことでした。

完成した滑走路は東北から西南へと西北から南東への2本で、未舗装の踏み固めただけの粗末なものでした。いずれも長さ1.5km、幅100m。2本の滑走路は現在の東洋鍛工(株)付近(貝原塚町3711)で交差していました。そのほか誘導路が造られ、周辺の森の中には飛行機の掩体壕(えんたいごう)が掘られました。そして誘導路は一般道路のように偽装されていました。完成後、試験飛行で複葉機が一機飛来しただけで、実戦では一度も使用されることなく終戦を迎えました。

秘密時に造られた飛行場でしたが、アメリカ情報部は秘匿飛行場の存在に気が付いていました。アメリカ空軍が、昭和20年に八原村上空から写した偵察写真にそれらしきものがはっきりと写っていたからです。

現在飛行場跡地を歩いてみても、その遺構を見つけることは出来ません。戦後すぐに黒田清氏を中心とした農地開拓が行われ、滑走路や掩体壕等様々な遺構は消滅し、八原開拓農地に生まれ変わったのです。こうした秘史は中貝原塚区集会場前の開拓記念碑に刻まれています。

それから約70年が経過した現在、八原開拓農地の南半分はニュータウンの造成により大きく様変わりしました。なお、押木たまご屋(貝原塚2971)前の南北の道を境界線とし、西側は津田出(つだいずる)による明治の女化開拓農地で、東側は戦後の八原開拓農地と大雑把ですが区分けすることが出来ます。



お知らせ

・健康づくり講座「認知症について知ろう！ー予防と対応ー」

認知症についての知識を学び、ワークショップで参加者と共にその予防策や対応策について考えてみましょう！

- ・日時: 令和6年12月1日(日)午後1時30分～午後3時
- ・場所: 2階 大会議室
- ・講師: 龍ヶ崎済生会病院 認知症看護認定看護師 小林若菜氏
- ・定員: 20名
- ・用意: 室内履き
- ・申込: センター窓口、電話0297-63-0030で11月8日(金)から受付開始

・市民活動コーディネーター育成講座

「龍ヶ崎みらい会議～若者が考えるまちづくりとは～」

市民活動中の若者たちに集ってもらい、龍ヶ崎のまちづくりについてワークショップで語り合います！

- ・日時: 令和6年12月8日(日)午後1時30分～午後3時30分
- ・場所: 2階 大会議室
- ・コーディネーター: 植竹 智央氏
(1993年生まれ。社会教育士、青少年育成協会理事)
- ・定員: 20名
- ・用意: 室内履き
- ・申込: センター窓口、電話0297-63-0030で11月8日(金)から受付開始

○龍ヶ崎短歌会

台風の豪雨の被害類の無く一日中の放映むなし

吉田綾子

未来など明るいものとは思えなかった若者たち」を歌ったあの頃

石渡静夫

○龍ヶ崎コミュニケーションハウス俳句講座

新涼や頬を伝わる風見ゆる

小山英雄

ぼつり立つ素山子の顔や夕映へり

北川滋也

